

社会的責任と貢献活動

■ 社会的責任に対する当会の考え方

当会は、府内JAの信用事業の連合会として、協同組合活動を通じ、農業振興・地域経済の発展に貢献し、自然環境の保全と農業との関わり等を一般のみなさまにも広く理解していただくよう努めております。

■ 地域貢献活動

■ 地域からの資金調達について

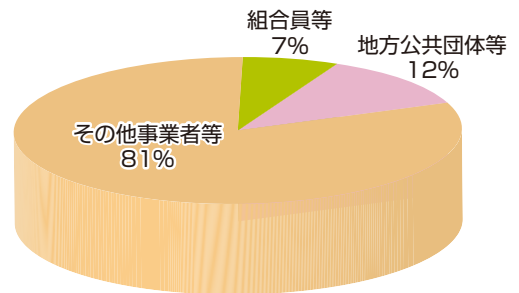
組合員をはじめ地域みなさまのニーズにお応えできるよう、貯金商品の充実に取り組んでおります。安心して運用いただける定期貯金・定期積金を中心に、キャンペーン等でご案内しているほか、団塊世代の方々向けの商品として「プレミアム定期貯金・定期積金」の取扱も行っており、各種商品のご提供を通じて、地域金融機関としてのJAの浸透に努めております。



■ 地域への資金供給について

組合員をはじめ地域のみなさまからお預かりしている大切な資金は、農家組合員や農業に関連する企業、地場産業ならびに地方公共団体等においてご利用いただいております。また、府内JAの幅広いネットワークを活用することにより、農業の担い手育成を金融面から支援するとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めております。

● 貸出先内訳(平成20年3月末)



● 制度融資貸出金残高(平成20年3月末)

(単位：百万円)

農業改良資金	288
就農支援資金	233
住宅建設資金	92
住宅改良資金	24

(単位：百万円)

組合員等	6,264
地方公共団体等	11,157
その他事業者等	74,115
合計	91,537

■ 文化的・社会的貢献について

1. ゲートボール・グラウンドゴルフ大会の実施

府内JAにおいて組織された年金友の会を主体とした、ゲートボール・グラウンドゴルフ大会の一部を当会が企画・実施しております。

ゲートボール大会

対象者：年金受給者（友の会会員）
目的：JA年金友の会会員の相互交流や親睦、健康の増進を図るため、JA年金友の会ゲートボール大会を実施。
京都府大会開催日：平成19年10月5日
参加人員：約100人



グラウンドゴルフ大会

対象者：年金受給者（友の会会員）
目的：JA年金友の会会員の相互交流や親睦、健康の増進を図るため、JA年金友の会グラウンドゴルフ大会を実施。
京都府大会開催日：平成19年10月25日
参加人員：約100人



2. 「元阪神タイガース片岡篤史氏から学ぶ少年野球教室」を開催

JAバンク京都では、平成19年度より「元阪神タイガース片岡篤史氏から学ぶ少年野球教室」を京都府内5会場で開催しました。

少年野球教室を通じて、地域に根ざした金融機関として利用者基盤の拡充に努めております。



3. 京都サンガF. Cへの協賛

平成18年度より、プロサッカーチーム京都サンガF. Cのオフィシャルスポンサーとなっています。平成19年度も京都サンガF.

C主催のホームゲームにおいて、入場者を対象としたJAバンク京都のPR活動（会場サンプリング）を実施し、地域密着に努めております。

4. 広報活動

JAグループ京都が、企画・提供するテレビ番組「あぐり京都」への協賛、インフォメーション（広報誌）での広報活動を通じて、農業・農村の役割への理解や、食の安心・安全の浸透に努めております。

5. 年金相談会の支援

専門家による年金相談会を、府内JAの各店舗で開催しています。